

News Release

報道関係者各位
2024年2月26日

マニユライフ生命カップ 第 18 回エコノミクス甲子園 全国大会 長崎大会代表の長崎県立佐世保北高等学校が初優勝！

- 10年ぶり2回目の全国大会出場を果たした佐世保北高校の2年生チームが優勝
- 準優勝校は千葉大会代表の千葉県立千葉高等学校

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO:ブノワ・メスレ、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)がメインスポンサーとして協賛する高校生対象の金融経済クイズ大会「マニユライフ生命カップ 第 18 回 エコノミクス甲子園 全国大会」(主催:認定 NPO 法人 金融知力普及協会)が 2月 25 日(日)に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、長崎大会代表の長崎県立佐世保北高等学校(以下、佐世保北高校)のチームが優勝しました。優勝チームは優勝トロフィーのほか、ニューヨーク研修旅行または「国際経済オリンピック(International Economics Olympiad、以下 IEO)」に日本代表として参加する権利を勝ち取りました。

全国大会には、366 校、787 チーム 1,574 名が参加した地方大会(インターネット大会含む)を勝ち進んだ、44 校(88 名)が出場しました。今年は昨年引き続き全国大会を対面形式で実施し、会場の白熱する戦いの様子は YouTube でも生配信されました。

全国大会に出場した高校生は、全国大会前日の 24 日(土)にグループワークのプレゼンテーション発表と筆記試験に取り組み、翌日の本戦に臨みました。決勝戦ではマニユライフ生命の社長ブノワ・メスレから英語でクイズが出題されたほか、金融・経済の知識だけでなく、チームワークや判断力、先を読む力など高い総合力が問われ、激闘の末、佐世保北高校が優勝しました。佐世保北高校 2 年の田代 豊(たしろ ゆたか)さんと、大久保 優樹(おおくぼ ゆうき)さんは「一緒に経済について勉強し、努力してきたので、結果が出てすごく嬉しい」「副賞は、IEO 日本代表としての出場権を選択したい」と優勝の喜びを語りました。

準優勝は、千葉大会代表の千葉県立千葉高等学校でした。3 位以下の結果については次ページをご参照ください。



マニユライフ生命取締役代表執行役社長兼 CEO ブノワ・メスレ(中央)と優勝した佐世保北高校の田代 豊さん(左)と大久保 優樹さん(右)



決勝ラウンドを制し、喜びの表情を浮かべる(左から)佐世保北高校の田代 豊さんと大久保 優樹さん

今大会の決勝ラウンドの結果

順位	学校名	氏名(学年、大会時点の年齢)	出場地方大会名
優勝	長崎県立佐世保北高等学校	たしろ ゆたか 田代 豊(2年生、17歳) おおくぼ ゆうき 大久保 優樹(2年生、16歳)	長崎大会
準優勝	千葉県立千葉高等学校	ますたに りゅうた 榎谷 隆太(2年生、17歳) やまもと たくま 山本 拓真(2年生、17歳)	千葉大会
3位	慶進高等学校	やまなか しゆん 山中 駿(2年生、17歳) ふくおか あやの 福岡 綾乃(1年生、16歳)	山口大会
4位	愛知県立岡崎高等学校	しみず ただかつ 清水 忠勝(2年生、17歳) おがた けんた 緒方 健太(2年生、17歳)	愛知大会
5位	富山県立富山中部高等学校	ふじき とうま 藤木 冬磨(2年生、17歳) どち そうた 土地 爽太(2年生、17歳)	富山大会

マニユライフ生命は、お客さまとご家族の将来の経済的な安心を支える生命保険会社として、「持続的な心身の健康の増進」「インクルーシブなビジネスチャンスの促進」「持続可能な未来への加速」の3つを柱とした「インパクト・アジェンダ」を社会貢献活動の中核としています。本大会の「社会に羽ばたく前の高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、『自分のライフデザイン』や『自分とお金の関わり方』を、クイズを通して考えてもらうきっかけとする」という趣旨は、生命保険業界が重点的に取り組む「金融リテラシー教育の推進」*に注力する当社のミッションと重なり、マニユライフが掲げるインパクト・アジェンダにも合致しています。

また、この取り組みは、国連の持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)のひとつである「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」にもつながっています。当社は、今後もこのような取り組みを通して、次世代を担う人々の金融知力向上に貢献したいと考えています。

*詳細は一般社団法人生命保険協会のウェブサイト(<https://www.seiho.or.jp/edu/>)をご参照ください。

全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』について

エコノミクス甲子園は、第1回大会(2006年に地方大会、2007年に全国大会を開催)以来、第18回大会までで全国延べ5,814校から29,425名の高校生がチャレンジしてきました。参加者は同じ学校に通う生徒二人一組でエントリーし、エコノミクス甲子園を企画・主催する認定NPO法人金融知力普及協会から提供される事前学習教材で金融知力を身につけ、地方大会(インターネット大会含む)に臨みます。地方大会(インターネット大会含む)の勝者は毎年2月に開催される全国大会に進み、全国大会で優勝を果たしたペアには、優勝トロフィーおよび、副賞として海外研修旅行または「国際経済オリンピック(International Economics Olympiad)」に日本代表として出場する権利が贈られます。また、認定NPO法人金融知力普及協会は返済不要の「金子・森育英奨学金」を給付しており、全国大会参加者のうち、所定の条件を満たす希望者の中から1~3名を選考し、全国大会で発表します。全国大会および奨学金についての詳細は公式ウェブサイト(<https://econ-koshien.com/>)をご参照ください。

認定NPO法人金融知力普及協会について

金融知力普及協会とは、全ての人々に金融知力の重要性ならびにその必要性を知っていただき、その金融知力を身につけていただくためのお手伝いをする特定非営利団体です。消費者、財界、教育界、金融界などから広く知恵を集め、会の趣旨に賛同する会員により支えられ、全ての人に金融知力を養ってもらうために活動します。詳細は公式ウェブサイト(<https://www.apfl.or.jp/>)をご参照ください。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。お客さまがより簡単に最適な保障を選択し、より良い毎日を送るためのお手伝いをします。当社に関する情報は、公式ウェブサイト(www.manulife.co.jp)、およびLinkedInアカウント(<https://www.linkedin.com/company/manulife-japan/>)をご覧ください。